

訓練で学んだ技術力を披露 宮城県立仙台台高等技術専門校が オープンキャンパス開催

ものづくり産業を支える人材を育成する県立仙台台高等技術専門校で、5月25日、来春卒業予定の高校生やその保護者などを対象に、オープンキャンパスが開かれた。

各訓練科での体験実習を実施。自動車整備科では、来場した人のマイカーを訓練生が整備作業や接客対応した。見学した中学生は、学校の中に本格的な修理工場があり、とても驚きました。自分もこういうところで実務を勉強したい」と話した。機械エンジニア科で、鉄板へ



エンジンの仕組みを高校生に指導



修理工場での自動車整備サービス



手作り自転車によるポンプ



身近な電気設備を作る体験

みやぎジヨブカフェ・職場見学訪問ツアー

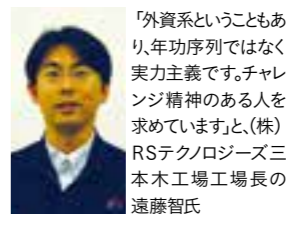
キャリアアカウンセリングや職業訓練の情報提供、職場体験から職業紹介までを行うみやぎジヨブカフェ（みやぎ若年者就職支援センター）で、若年求職者と来年3月新卒予定の大学生などを対象に職場見学訪問ツアーが5月22日開催された。



多数の人が参加した職場見学訪問バスツアー



訪問先の株式会社RSテクノロジー三本木工場



「外資系ということもあり、年功序列ではなく実力主義です。チャレンジ精神のある人を求めています」と、(株)RSテクノロジー三本木工場工場長の遠藤智氏

みやぎジヨブカフェ、求職者と企業を支援する「合同適性試験&合同企業説明会」開催

みやぎジヨブカフェが主催する「合同適性試験&合同企業説明会」が、6月2日、仙台市情報・産業プラザで開かれた。当日は、午前と午後の2回合同適性試験が実施され、試験の間に企業説明会を開催。宮城県内の企業45社が参加し、プ



合同適性試験の様子



製造業のブース



合同企業説明会会場の様子



合説ワンポイントセミナーの様子

スを訪れた若年求職者や大学新卒者に、事業内容等の説明を行った。今回参加した企業のうち、半導体や建材、食品などモノづくりに関わる製造業は9社。「何事も明るく前向きに受け止め、プラス思考で行動できる、自立した人材

「くりはらジヨブ・フェア」開催 社会人としての心構えと、就職への意識を高める

「くりはらジヨブ・フェア2014」春（主催／栗原市、栗原市企業連絡協議会）が5月21日、東北職業能力開発大学校で就職を希望する在校生を対象に開催された。



開会のあいさつを述べる佐藤勇栗原市長



「電気工事に興味があり、誰でもコミュニケーションの取れる柔軟性と、責任感のある人を求めています」と、(株)栄進電気社長の千葉茂氏



「幸せに暮らす家を作る仕事なので、郷土や家族を大切に思っていることが前提条件ですね」と、(株)今野ハウジング社長の今野武氏



「何事にも臆することなく、興味とやる気を持った方に来てほしい」と、(株)三共製作所宮城事業所総務室マネージャーの菊地法人氏

ん方には、説明会を参考に就職活動を行ってほしい」と、開会のあいさつを述べた。当日は(株)三共製作所宮城事業所、(株)今野ハウジング、(株)栄進電気の3社が訪れ、自社の理念や事業内容などを説明。3社共通して「学校で勉強したこと、会社で学

ぶことは別のもの。最初は入った会社の仕事の基礎を覚えることが大切。何でも吸収する気持ちで来てほしい」と話した。くりはらジヨブ・フェアは、地元企業への理解を深めるとともに、学生の就職に対する意識高揚を図るため、春、夏、秋の年3回開催。

東北大学工学部 機械・知能系「女子学生のつどい」〜新入生を迎えて〜

機械工学にも女性の目を通じた新しい視点やアイデアの創出が強く求められている。そのためにも「工学女子」の輪を広げたいという思いで実施されている東北大学工学部機械・知能系「女子学生のつどい」が、4月4日、あおば食堂DOCKで新入生を迎えて開催された。最初に機械・知能系における女子学生支援活動や女



楽しそうな機械・知能系女子の交流会

子静養室、ALICE（東北大学工学系女性研究者育成支援推進室）による工学系全体の女性研究者・女子学生支援についての紹介。続いて、新入生が在校生に自由に質問できるパネルディスカッションや、新入生・在校生・教員が自由に話す交流会が行われた。機械系主任は、「失敗を恐れずに挑戦し、その経験を新しい力とし成功につなげてほしい」というメッセージが送られた。参加者からは「思っていたよりたくさんの女性がいて安心した」「友だちを作るきっかけになる」という声があがった。

仙台市立仙台台高校の2年生が 東北工業大学模擬授業を体験

高校生を対象に、「社会の中で活かされている学問」をより分かりやすく伝えたいとの思いから始まった東北工業大学の出前授業。その一環として、4月24日に東北工業大学八木山キャンパスにおいて模擬授業が開催された。

の仕組みと視覚機能」の講義を聞いた生徒は、「より人間に近い機能を持つロボットをつくるためには、まず人間について知らなくては いけません」という説明に大きくうなずいていた。その後、建築学科と情報通信工学科の施設を見学。建築模型や装置の操作説明にも真剣な眼差しで聞き入っていた。



建築模型の説明に聞き入る高校生たち

この出前授業は、例年約50校、1300名余の生徒に利用されている。

「すずめ踊り」「花は咲く」に想いを込めて 第24回全国産業教育フェア宮城大会第1回生徒実行委員会

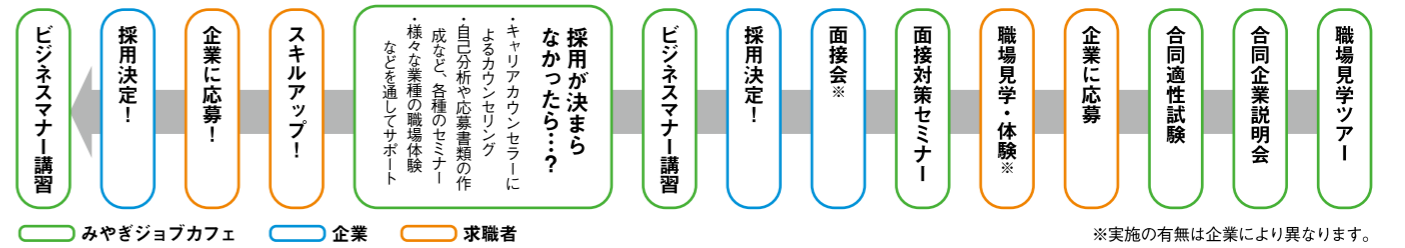
専門高校の学習成果を発表する全国産業教育フェア。平成26年11月8日・9日に第24回宮城大会が開催されるが、その準備のひとつとなる第一回生徒実行委員会が、5月30日、名取市文化会館2階中ホールで行われた。



壇上で行われたアトラクションの練習風景

産業教育の理解・関心を高めること。「富良野宮城」「観光王国みやぎ」「食料王国みやぎ」として新たな産業教育のあり方を発信する。第一回生徒実行委員会では、開会式アトラクション「すずめ踊り」と、閉会式合唱アトラクション「花は咲く」の練習も行われた。参加者からからは「被災地からのものづくりへの想いと感謝の気持ちを感じられたら」という声があがった。

みやぎジヨブカフェ・合同適性試験&合同企業説明会の進み方



※実施の有無は企業により異なります。